

**研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム
シーズ育成タイプ 完了報告書（公開用）**

1. 課題の名称等

研究開発課題名	: ガラス代替を可能にする透明樹脂フィルムのロール／ロール スパッタ生産技術開発
プロジェクトリーダー 所属機関	: リケンテクノス株式会社
研究責任者	: 多賀康訓（中部大学）

2. 研究開発の目的

ガラス代替樹脂フィルムの開発では、耐候性や硬度等の本質的課題のほか高透明や防汚性等の多機能化も課題となっている。それら多機能を同時実現する機能薄膜を中部大学の多賀教授が開発。リケンテクノス㈱ではモバイル用カバーガラス代替として超硬フィルムを実用展開しており、この融合により屋外使用も可能な多機能ガラス代替フィルムの実用化を目指す。

3. 研究開発の概要

3-1. 研究開発の実施概要

本プロジェクトでは、多機能膜のプロセス解析による検証と量産可能な連続スパッタ成膜の生産技術開発を行った。有機-無機のハイブリッド膜をスパッタ成膜するためのターゲット材を開発し、また連続スパッタでの最適加工条件を確立。巻物製品としての試作サンプルを作製して市場への適用検討まで進めることができた。

3-2. 今後の展開

本プロジェクトで得られた最適加工条件をもとに連続スパッタ成膜の加工、性能の安定化検証を継続するとともに、更なる機能複合化も検討しながら市場への適用検討を本格化し、多機能ガラス代替フィルムの実用展開を目指す。